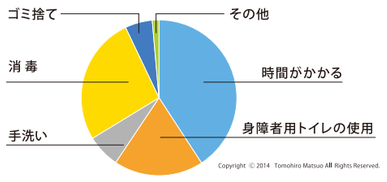
Toilet Times トイレタイムス
みんなで考える、入りたいトイレ
Vol.3
2021.2.25

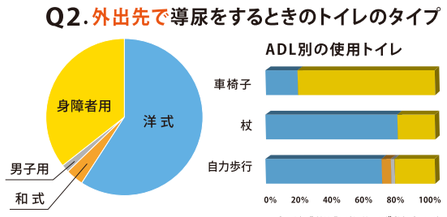
「みんなにやさしいトイレ会議」発足11周年を記念して特別インタビュー

みんなが入りたくなるトイレ。聞きたい、知りたいトイレ。

Q1.どんなことに関して他人の目がきになるか



Q2.外出先で導尿をするときのトイレのタイプ



▲2020年2月［まちむら］149号

Q3.外出先のトイレの不満

物品を置くスペースがない	10名	ウォシュレット	2名
和式しかない・洋式がない	8名	待たせているストレス	2名
手洗いがない	7名	身障者トイレが少ない	1名
洗面台・手すり・鍵の高さが合わない	5名	待たせているので、人目が気になる	1名
スペースが狭い	4名	トイレットペーパーがとりにくい	1名
ゴミ箱がない	3名	元気な人もバリアフリーを使用している	1名
カテーテル洗浄ができない	2名	バリアフリーなのに車椅子が入らない	1名

Copyright © 2014 Tomohiro Matsuo All Rights Reserved.

ビートたけしの、医学系バラエティーにも出演したことがあります。長崎県の医師の出演は初めてだったようです。

ドクターの毎日は、病院の階段を登る?!

外来を週に3日、残りの2日は手術の日々です。時には3～4名の患者さんの手術で、午前中から夕方まで10時間以上の立ち仕事という時も。週に2回は、夕方から2時間ほどコミュニケーションの意味も含めて、大学院生の指導にも力を注いでいますので、ほぼ毎日、残業の日々。はっきり言って時間不足、運動不足です。スポーツ系は好きなのですが、時間がない。そこで詰め所のある12階まで毎日、登ります！これが結構きつい！

長崎大学病院
泌尿器科・腎移植外科
医学博士
松尾　朋博

「当科外来における自己導尿患者の意識調査」で感じたこと

私の担当する自力排尿できない自己導尿（CIC）患者さんが、日常生活にどのような影響を及ぼすのか、どのような不便を感じているのかを独自のアンケートを用いて聞き取り調査を行いました。結論からいうと、健常者と患者さんとの意識のギャップが浮き彫りになりました。

何よりも自己導尿患者の存在自体があまり知られていない。そのため外出先のトイレに関して事前の手洗いを含めて「他人の目が気になる」…それがストレスになるわけで、トイレを我慢して、再び悪くなり外来に来られることも。このような結果も踏まえ、2年前、「みんなにやさしいトイレ会議」さんに協力をお願いしたことで、改めて導尿患者さんへの心理的な背景の理解を深めるひとつの良いきっかけになりました。

長崎発トイレからはじまるまちづくり・自己導尿患者にもやさしいトイレ環境を目指して

「みんなにやさしいトイレ会議」さんのご協力のもと、我々がこれまでに発表してきたことをご紹介します。

【背景】

CICは膀胱炎などの感染予防や腎機能温存の観点からも重要な"ルーティンワーク"です。我々は、「みんなにやさしいトイレ会議」さんとともに、CIC患者さんの声をもとにしたトイレ環境の整備に努めてきました。

【意識調査の結果】

CIC患者の方は外出先のトイレにおいて
①体位保持が困難
②導尿に時間がかかる
③人を待たせていると思い焦る
④自分に合ったトイレが少ないなど多くのストレスを抱えていました。また、外出先では多機能トイレを使用する場合もありますが、一部の患者さんは、"一見健常人"に見えるため、その引け目から多機能トイレ、外出時にトイレに行けないことも多いようです。

【まちづくりの可能性】

このような我々の知見は「長崎市まちなか事業推進室」とも共有し、公衆便所の改修・新規設置の際の参考資料となっています。またCIC患者でも容易に使用可能な「前広便座いい安座」（片倉工業）を公共施設に導入し、さらに心理面にも配慮したトイレ環境を継続して提供しています。産学官民一体となった「トイレからはじまるまちづくり」を目指した長崎発の活動は国内で多大な評価を受け、特に第32回老年泌尿器科学会では学会賞を受賞しました。

「みんなにやさしいトイレ会議」実行委員会の提案。CIC患者のピクトサインの作成

オシッコが出すぎる人・出ない人にとって、なくてはならないもの。泌尿の「泌」は、「サンズイに必ず」と書きます。泌尿器は絶対に必要な臓器の1つですね。みなさんご存じないかもしれませんが腎移植は泌尿器科が行う手術なんですよ、意外でしょう？

また「こころに沁みる」とも書きますね。トイレは、尊厳という観点からも気持ちの部分を尊重してあげたい。個人的には、いちばん心がやすらぐところです。自律神経のバランスが乱れるとオシッコは出ないですから（さすがは専門的で、大変興味深いお言葉です　By委員長）

©ntk　©ntk

「プライベート」なのに「共有する」難しさ。

トイレの設計を手掛けられたきっかけは、成り行き？

大きな仕事の依頼があって成り行きというか？そこからです。四国のチャームステーションという5億円をかけた公衆トイレの設計に加わりました。トイレは面白いところがいっぱいあって、「矛盾しているところ」が面白い。「プライベート」なのに「共有する」わけでしょう？ひとり、ひとりが、その時と場所は、自分のものだけど、その後は、違うひとが使う「共有する」わけです。それがトイレ設計のいちばん難しいところなのだけど…でも解決する方策などをいろいろ考えることが面白いと思います。だから続いてきた、ハマってしまった理由のひとつですね。

トイレの設計は他の建築物と違って、資料もなく参考書もない。取り組む前に調査をして設計して「これが解答だ…」と自分が思っていても、解決したのかどうかわからない。本当のことが見つけられない、解決がわかないまま。それを調べないと、同じ間違いをどんどん繰り返していることになる。それでも解決しないから、また取り組んでいく…

有限会社設計事務所
ゴンドラ小林純子
一級建築士・
（一社）日本トイレ協会会長

《祝》
（一社）日本トイレ協会
新会長就任！
「みんなにやさしいトイレ会議」も、わくわくしています。（メンバー一同）

トイレは、これだ！と言い切れない。

トイレの設計は、予想もつかないから、まるでミステリー小説みたい。「予想と結果のギャップの違い」があるから、いろんなことを学ぶ、現場に行かないと本当のことはみつけられない、ということを学んだわけです。机の上だけでの創造だけでは無理だということを学びましたね。

私はその実態と予測のギャップを、できるだけ近づけることに心をくだいてきたから、面白かったのかもしれません。トイレは長くやってきても、これだ！といいきれない。「トイレの専門家だからなんでもわかっているだろう」と、よく言われますけど、全部はわかっていないし、これだ！と言い切れない。どんどん激変するし、そのために何回も、何回も繰り返し取り組む。それが続けてきた、もうひとつの理由です。

大村ボートのトイレ

アミュのトイレ

自然体で見守る、森山東小学校通学路トイレ「すずめのおやど」

「すずめのおやど」トイレは、山のふもとの畑の中にある、雀のお宿みたいな可愛いトイレです。あのトイレほど自然体で、みんなで見守っているトイレはないと思う。今でも「お掃除ノート」の申し送りが継続している。なんとも日本的なものが残っているトイレだと思います。

片道1時間かかる山の麓まで集団下校する子供たちがいて「途中でトイレに困るから、その道にトイレを作りたい」と町長さんからの依頼がありました。でも私は、まず言いました「こんなさびしい、ひと気のない場所には、作らないほうがいいんじゃないですか。犯罪の巣窟になるかも、防犯面からも危ないし」

市立森山東小学校から麓の干拓地までは「すずめごろしの峠」を通って片道1時間、往復2時間。そこには子供たちの物語がある。それを聞きたくて、私は「一緒に歩いたんです」40名余りの子供たちと。「ここはザリガニがいるから必ずいく」とか「おばさん足は大丈夫？」とか言われながら2日間。トイレって不思議ですよね、社会のいろんな情景を教えてくれる。

地域の見守りが「すずめのおやど」トイレのカギになるわけですから、PTAの方々ともいろいろ話し合いました。子供たちの下校時に合わせて畑の周辺で草むしりしながら自然に見守る。土日は親たちがトイレ掃除をしてくれる（今でもお掃除ノートが申し送りとして続いている）この自然体での地域ぐるみでの見守りがあるからこその「すずめのおやど」トイレだと思います。来年、キッズデザイン賞に出そうかと思っています。（ぜひ応募してください！このトイレは、本当に大好きです。by委員長）

子供たちの絵タイル

小林純子会長が、一般社団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会（IAUD）の行う『IAUD国際デザイン賞2020』の公共空間デザイン部門で金賞を受賞されました。

IAUD INTERNATIONAL DESIGN AWARD 2020

あなたにとって、トイレとは？

ぼーっとするところ。心をほっとさせる小休憩のバロメーターになるところ。

トイレとジェンダー／男女共同参画

トイレでいちばん先に目がいくところは？それはなぜ？

トイレマークです。「男性は青でズボン、女性は赤でスカート」のマークが一般的ですよね。なぜ男性が青で、女性は赤？という疑問はありますが、既に生活の中に溶け込んだマークとなっています。それ以外の工夫を凝らしたデザインのトイレマークに出会ったときは、思わず足を止めて見入ってしまいます。

トイレマークを通して、私たちが無意識のうちに思い込んでいるジェンダーについて考えるきっかけとしています。

長崎県
県民生活環境部
男女参画・女性活躍
推進室
室長 有吉 佳代子

イクメンパパが、トイレで苦労している…!!

育児をする男性「イクメン」という言葉が当たり前に時代の中を歩いているのに、長い間、男子トイレにベビーキープやおむつ交換台がなかったですよね？自分が用を足すとき、幼い子どもはどうすればいい？ましてやベビーはどこでおむつ替え？（因みに洋式便座の上で替えたという声が多いです。）イクメンパパたちは、男子トイレの個室で、人知れずかなり奮闘しています。男性が子育てしやすい視点がスタンダードとして求められている時代です。

まちづくりの基本としての公衆トイレについて

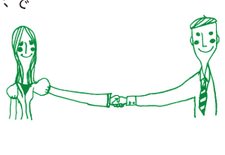
委員長の竹中晴美さんが企画され1986年にスタートした、女性が主役のまち歩きイベント「長崎ウーマンズ・ウォークラリー」を通して、竹中さんは、まち歩きや観光に欠かせない公衆トイレが不便で不衛生であることを実感されました。

そして、「伝えなければ、伝わらない」という想いのもと、公衆トイレには女性の視点や育児中の男性への配慮が欠けているなど、生活者目線からの環境改善を行政へ提言されたのを機に、現在では公共施設のトイレに設計段階から深く関わり、様々な状況にある方が利用しやすいトイレづくりを実現されています。この「みんなにやさしいトイレ」という視点は、一人ひとりの個性を尊重する男女共同参画社会づくりにも通じる視点でもあります。

まちづくりの基本となる公衆トイレに対する地道な活動に対して、**竹中さんが2019年に長崎県県民表彰（まちづくり功労賞）を受賞された**ことを大変嬉しく思っています。

あなたにとって、トイレとは？

考えがまとまらない時に、よくトイレを利用して気持ちをチェンジしています。それから、次の行動にうつる前にも必ず利用しています。私にとってトイレには、ギアチェンジの役割もあるようです。



INAX
キレイな
トイレは
アクアセラミック

100年クリーン
お掃除するたび、ガンコな水アカが落ちるンです。
水のチカラで、汚物がツルンっと落ちるンです。
LIXIL
Link to Good Living
株式会社LIXILは「みんなにやさしいトイレ会議」を応援しています。

便秘症は、立派な病気です。

やなぎクリニック
柳　忠宏
YANAGI CLINIC

毎日、うんちがでているから便秘ではない。本当にそう思いますか？世界的な診断基準では、「週に3回以上うんちが出ない」だけではなく、「出すときに強くいきむ」とか「なんとなくすっきり出た気がしない」それも便秘の状態です。

赤ちゃんからお年寄りまで、年齢によって便秘のきっかけは変わっていきます。赤ちゃんでは、離乳食がはじまるとき、トイレトレーニングがはじまるとき、乳幼児以降では、幼稚園、保育園、学校生活など環境が変わったときなどです。高齢者では、大腸がんの最初の症状として便秘になることもしばしばあります。

こどもの便秘は、気づかれないうちに進行して、不快感や食欲の低下、腹痛、自尊心の低下など生活の質を落とす要因にもなります。トイレトレーニングや入園入学をきっかけに、うんちが出ない、出せない、出すのが痛いからがまんする、園や学校でうんちはしたくないからがまんする、そして、また出せない・・この悪循環になっていきます（図1）。

初めて病院を訪れるのは、それからしばらく経ってからが多いようです。

〈便秘のサイン〉
- **5日間うんちが出ない。**
- **お腹がいたいということを繰り返す。**
- **うんちのときにいきみすぎて、血がつくようになった。**
- **（おむつはとれたのに）ときどきパンツにうんちがついてしまうことがある。**
- **おならがすごく臭い など。**

病院で浣腸をしてもらって、すっきり！これだけでおしまいにしてしまうと、繰り返してしまうことがほとんどです。小学生で便秘のこどもは、その25％（4人に1人）が、成人になっても便秘を繰り返します。便秘は、高齢者になると生命に関わってきます。

トイレでいきんだときに、心筋梗塞、脳卒中の原因になっていきます。慢性腎臓病のリスクがあがるという報告があります。便秘は、赤ちゃんから高齢者まで、見えない脅威になっているのです。

便育のススメ

誰もがなんとなく、うんちをします。自分のうんちの仕方、うんちの状態が普通なのかとはあまり考えません。まずは、自分のうんちを見てみましょう。

うんちの仕方

赤ちゃんが、足を突っ張っていきんでいると き、1～2歳のお子さんがソファの陰で足を突っ張ってもじもじしているとき、それは、すでに便秘のサインです。人間は、足と体が35度になる姿勢が排便によいとされています（図2）。

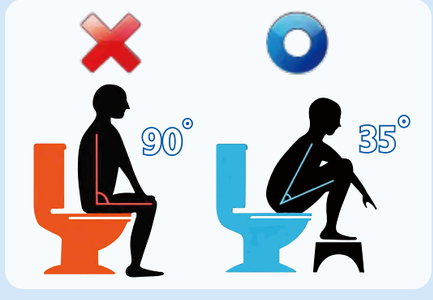
足をつっぱってうんちをだそうとしているお子さんには、しゃがむ姿勢を優しく教えてあげましょう。最近は、和式トイレをみかけなくなりましたので、成人でも足台をおいてされるのもよいでしょう。

うんちの状態

うんちの状態を7段階にわけた表があります（図3）。1番は、うさぎの糞のようにコロコロした便。7番は、完全な下痢のような水便です。あなたのうんちは何番ですか。4番がバナナ状の健康的な便です。1～3番のときは、いわゆる便秘の硬い便です。

食事量が減っていたり、運動不足だったり、水分量が足りなくなったりしていませんか。5～7番は、ゆるい便です。疲れがたまっていたり、油もの を多くとりすぎたり、お酒の飲みすぎなどではありませんか。

うんちは、日頃の健康状態や食生活の指標にもなるので、ぜひ、うんちをみて生活をみなおしましょう。



排便日誌をつけてみましょう

日記とおなじように、「排便日誌」をつけてみましょう。

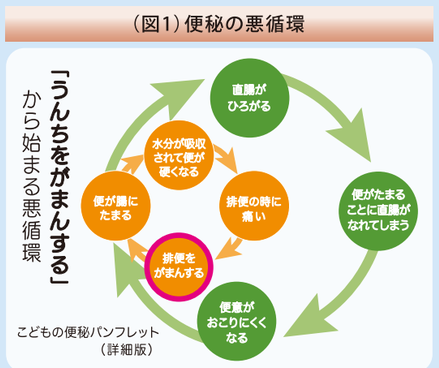
●こどもの便秘の正しい治療
こどもの便秘のことや、日誌のダウンロードができます。
http://www.jspghan.org/constipation/kanja.html

●うんログ
うんちの記録がつけられるアプリ
https://unlog.co.jp/services/unlog/

うんログ　こどもの便秘の正しい治療

あなたにとってトイレとは？
小児科医としては、便や尿をチェックする場所ですが、私にとって、トイレとは「新しく集中しなおす空間」です。仕事の流れが悪いとき、疲れたときなどには、自分をリセットする空間だと思います。トイレに座って、へそのした数センチに意識を集中して、ゆっくりと息を吐いて、排便、排尿とともに、頭の中を「無」にします。そのため、自宅以外のトイレでは、清潔感があり、異臭がしない空間がいいですね。

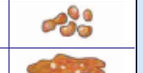
（図1）便秘の悪循環



こどもの便秘パンフレット（詳細版）

（図2）排便の姿勢

（図3）便の7タイプ

タイプ1	硬くてコロコロの兎糞状の（排便困難な）便	
タイプ2	ソーセージ状であるがでこぼこした（塊状の）便	
タイプ3	表面にひび割れのあるソーセージ状の便	
タイプ4	表面がなめらかで柔らかいソーセージ状、あるいは蛇のようなとぐろを巻く便	
タイプ5	はっきりとした断端のある柔らかい半分固形の（容易に排便できる）便	
タイプ6	端がほぐれて、ふにゃふにゃの不定形の小片便、泥状の便	
タイプ7	水様で、固形物を含まない液体状の便	

「自分を守る、が みんなを守る」手洗いは、命を守ります！

「感染症対策の基本」は手洗い、それも「正しい手洗い」を意識すること！手を洗う習慣を徹底する、継続することが大事です。弊社では専門医に監修いただき、お子様も楽しく・正しい手洗いが身に付くよう「シャボンちゃんの手あらいうた」を2016年に制作しました。

この手あらいうたに振り付けをつけた「シャボンちゃんの手あらいダンス」という企画も行っております。これまでに企業や学校、スポーツ選手など、たくさんの方々に「手あらいダンス」に挑戦して頂いております。お子様も大人も、歌いながら、楽しく正しい手洗い」が自然と身につきます。「一度聞かれると自然と耳につくそうで（笑）手洗いの正しい順序が無理なく覚えられますよ。ぜひ手を洗いましょう！大切なひとのために…。

大切にされている言葉がありますか？

平安時代の国学者「本居宣長」の言葉「好信楽（こうしんらく）」。創業者である父が座右の銘としておりました。私も大切に想います。何事も、一つのことを最後まで成し遂げるには、好きになって信念を貫き、しかも自分が楽しみながらでなければ長続きしない。

好きなことの入り口が、私にとってシャボン玉石けんです。好きだからこそ、これからも続けられる。地道に確実に伝えていけると信じております。

あなたにとって、トイレとは？また印象に残るトイレは？

なかなか難しいですね…毎日、使うもの。自分が落ち着くし、ゆっくり出来ることがうれしい。ビルの最上階にあるトイレは、ビルの窓越しにスカイツリーが見えて爽快でした！コロナ禍の中では、自己免疫を高める。そしてトイレ後の正しい手洗いは大きなポイントです。トイレの後はざっとという感じで、きちんと意識しながら手を洗ってなかったという方も意外と多いと思いますね。ぜひ石けんでしっかり手洗いをしてほしいですね。

トイレとシャボン玉石けんの自然な関係？

2020年は弊社にとって創業110周年という節目の年でしたが、コロナ禍という前代未聞の年になりました。実は先代（父）は、1960年代には合成洗剤を販売し、売り上げも好調でしたが、父自身が原因不明の湿疹に長年悩まされ、その原因が自社の合成洗剤であると分かり、1974年、無添加石けんの製造・販売に切り替えました。食品以外で初めて「無添加」という言葉を使用した「ひとにやさしいもの は、自然にもやさしい」無添加石けんのパイオニアとしての始まりです。原料にこだわり、手間ひまかけて丁寧に炊き上げる「ケン化法」で作られる「石けん」ですが、工程の最後には、職人が仕上がり具合を見極めるために石けんを味見して確認します。口にいれても安心な石けんであるということですが、よく皆さんに驚かれますね。

工場見学は、皆様にとても好評を頂いております。コロナ禍のこんな時ですから、定期的に「オンライン工場見学」を実施しております。ぜひご覧頂ければと思います。

トイレは人が日々、そして一生かかわっていく、なくてはならないもの。人にやさしいものは、自然にもやさしい。そんな無添加石けんは、手洗いや、トイレ掃除の水が川に流れても環境負荷が少ない。つまりトイレとは、自然な関係でつながっていると思います。

シャボン玉石けん
株式会社
代表取締役社長
森田 隼人

オンライン工場見学

●創業110周年記念新聞広告が「朝日新聞特別賞」受賞

●2019年：環境省主催「第7回グッドライフアワード」にて石けん系消火剤の取り組みが環境大臣賞企業部門を受賞

健康な体ときれいな水を守る。シャボン玉石けん
https://rkb.jp/tearai/　#手あらいダンス

「SDGs」の6番目 "安全と水とトイレを世界中に"。

「健康な体ときれいな水を守る」弊社の企業理念のもと、地域社会に貢献してまいりました。国際連合が提唱する「SDGs」の取り組みの一つとして人気商品の売上の1％を人と環境にやさしい活動に寄付するプロジェクト「1％ for Natureプロジェクト」に取り組んでいます。支援先の一つとしてミャンマーで取り組まれている「命の水事業」井戸建設の支援を行っています。これからも、人と環境にやさしい商品づくり、支援活動に努めてまいります。

どんなトイレがあれば良いと思いますか？

「子どもが喜ぶ楽しいトイレ」です。私は共働きだったので、幼い頃の子どもと結構よく出かけました。もう20年も前の話です、当時は遊園地のトイレでも、そこは文字通り「日陰の」存在で、決して清潔ではなく、子どもがトイレに行くのを嫌がった記憶があります。

いまは多目的トイレなどが増えて環境は画期的に変化しましたが、機能的で清潔であるのと同時に、子どもが喜んでいけるようなトイレがあればと思います。あくまで「清潔」が基本ですが、そこに「楽しい」という要素を加えられないかと。カラーにひと工夫し、同じ個室の中に大人用と子ども用、2つのトイレがあるとか、最近、児童用の施設にある「見守りトイレ」とか、そんなトイレなら、子どものみならず大人も入ってみたいと思うに違いないと考えています。

これまでで一番、印象に残ったトイレとは？

トイレと言えるかどうか？と思いつつ…お答えします。私は、社会に出て四半世紀にわたってテレビ局の報道の仕事をしてきまして、普通では行くことのできない海外での取材の機会にも恵まれました。

例えば、中華人民共和国の青海省からチベット自治区に至る山間部で6,000メートル級の未踏峰に挑戦する登山隊の同行取材、旧ソ連のカザフスタン、ウズベキスタン、キルギスタンの砂漠地帯を巡る中央アジア取材、そしてアフリカ中央部のコンゴ人民共和国（現コンゴ共和国）の大森林での野生ゴリラの取材などです。

その中でなんといっても印象深いのは、約3ヵ月におよんだ「コンゴ・ンドキの森」でのテント生活です。「ンドキ」とは現地語で悪霊という意味、「悪霊の森」と呼ばれる大森林の中にいる人間は、ゴリラを調査するチームと私たち取材班あわせて10人ほど。一方で、動物たちと言えば、調査対象のゴリラを始め多くの種類のサル、森に棲む小型のゾウ、カバなどの哺乳類、ヘビ、トカゲ、ワニなど多種多様。一日の生活は、日の出とともに起きて森の調査、夕暮れにはテントに帰り、日没とともに眠ります。

「森のどこかのトイレ」は、勇気とタイミングが難しい？

そこで問題になるのは「トイレ」ですよね。もちろん決められた場所や施設がある訳でなく、「森のどこか」でひっそりとおこなう訳です。しかし、そのタイミングが難しい。森の動物の多くが夜行性です。だから夜にトイレに行くのは、いささか勇気が…。

大森林の夜は賑やかです。何を伝えようとしているのか様々な動物の声が聞こえてきます。それに加えて「虫の音」が…。日本で「虫の音」といえば、秋を告げる風情のあるものですが、その森には大人の親指ほどのサイズのコオロギ？がいます。そしてその「虫の音」のヴォリュームも半端ない！3ヵ月の森の生活で「極力」夜のトイレ」を控えていたのですが、ある夜、とうとう我慢できなくなりました。ヘッドランプを付けて、テントを抜け出し夜の森へ。真っ暗な闇、様々な鳴き声、音、気のせいなのか何かがうごめくような空気の動き。闇の奥から何かが迫ってきそうな気配の中でのトイレ、忘れられない記憶です。

あなたにとって、トイレとは？

命をつないでいくための大切な空間です。

株式会社テレビ長崎
代表取締役 社長
宮前 周司

はっちゃKもの

みんなにやさしいトイレ会議の 11年間の実績

●使う側（トイレ会議）●設置する側（長崎市）●トイレのプロ（専門家）、3つの視点で、これまで11か所の公衆便所、4か所の公園便所の改修提言に取り組んできました。視点が違うって!! 例えば用を足すとき男性は上着（コートなど）を必ず脱ぐので、ドアのフックが高い場所に。しかし女性は上着を脱がないのですけど・・・。設計者が男性だけの、今では笑い話。

①丸川公園トイレ
記念すべき初めての実績！ママたちや小学生でいつもいっぱい。

②松ヶ枝第二駐車場公衆トイレ
小林純子先生をお招きして初のトイレワークショップ。画期的なトイレ設計です

③宮ノ下公園トイレ
荷物用フックを設置。女子用トイレには全身鏡を設置。

④市民会館裏公衆トイレ
ワースト3のトイレが大変身。「基本のき」を取り入れてイチオシ！のトイレに大変身！

⑤丸山公園トイレ
初めて、多目的トイレの出入り口に目隠しを設置。

⑥湾公園トイレ
女性の設計者ならではの優しい気配り設計。内見会も開催。

⑦鍋冠山公園トイレ
長崎が誇る絶景の展望所。星空のピクトグラムサインがGood！

⑧西坂公園トイレ
観光地でありながら、劣悪な環境＆最悪トイレが、使い勝手の良い清潔なトイレに！

⑨中園公園トイレ
一見、ありそうでなかった軒下。雨の日も濡れないで傘がさせます。

⑩丸尾公園トイレ
子供たちやママたちが集まる公園なので、改修前の実態から改修後のトイレにほっと！

⑪天主公園トイレ
便器破壊行為、ポイ捨てが信じられない浦上天主堂のそば。夜間も安心・安全な環境であるために「光の灯る」トイレとして見守られています。

『（公財）県民ボランティア振興基金支援事業』